

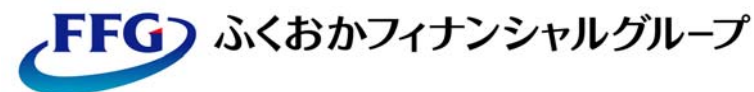
ふくおかフィナンシャルグループ 会社説明会

～ふくおかフィナンシャルグループの成長戦略～



FFG ブランドキャラクター『ユーモ』

2013年12月



(東証第1部・福証上場 証券コード:8354)

目 次

	ページ
Part I ふくおかフィナンシャルグループの概要	02－10
Part II 第四次中期経営計画 “ABCプランII”	11－17
Part III 業績推移・配当方針	18－21
Part IV 参考資料	22－27





Fukuoka Financial Group

—あなたのいちばんに。—

Part I

ふくおかフィナンシャルグループの概要

ふくおかフィナンシャルグループ（FFG）とは？

- ▶ FFGは九州を地盤とする3つの地方銀行を傘下にもつ金融持株会社
- ▶ 2012年4月にふくおか証券がグループ入りし、総合金融グループとなる

（2013年9月末）

金融持株会社



ふくおかフィナンシャルグループ



- ▶ 設立 2007年
- ▶ 総資産 13.4兆円

グループ銀行

福岡銀行



100%

- ▶ 創業 1877年（明治10年）
- ▶ 貸出金 7.0兆円
- ▶ 預金量 8.4兆円
- ▶ 福岡県内シェアNo.1

熊本銀行



100%

- ▶ 創業 1929年（昭和4年）
- ▶ 貸出金 1.0兆円
- ▶ 預金量 1.3兆円
- ▶ 熊本県内シェアNo.2

親和銀行



100%

- ▶ 創業 1879年（明治12年）
- ▶ 貸出金 1.4兆円
- ▶ 預金量 2.2兆円
- ▶ 長崎県内シェアNo.2

グループ子会社

連結子会社 17社

ふくおか証券（旧前田証券）

FFGカード

FFGビジネスコンサルティング

ふくおか債権回収

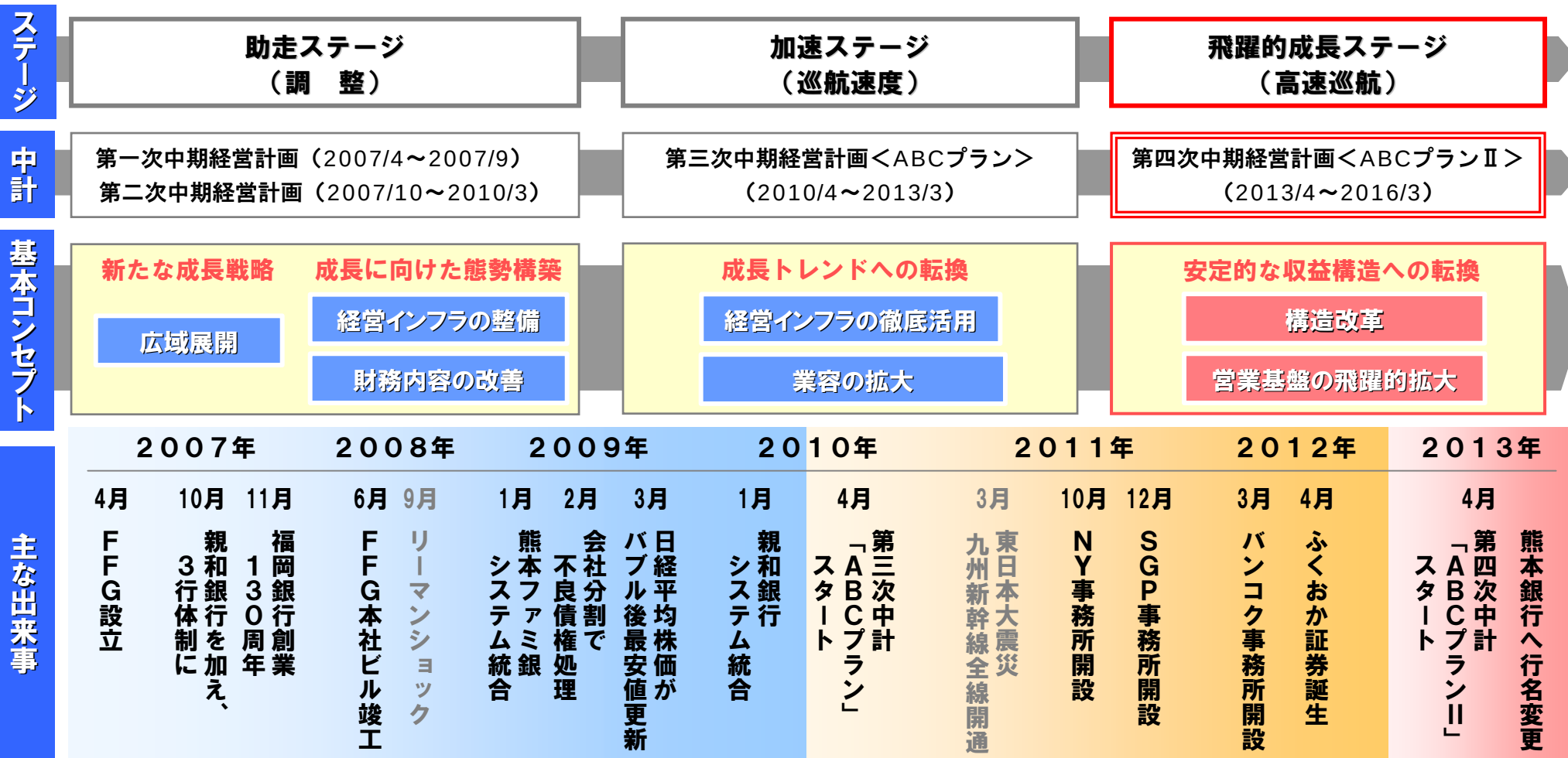
福岡コンピューターサービス

ふくぎん保証

ほか

これまでの歩み

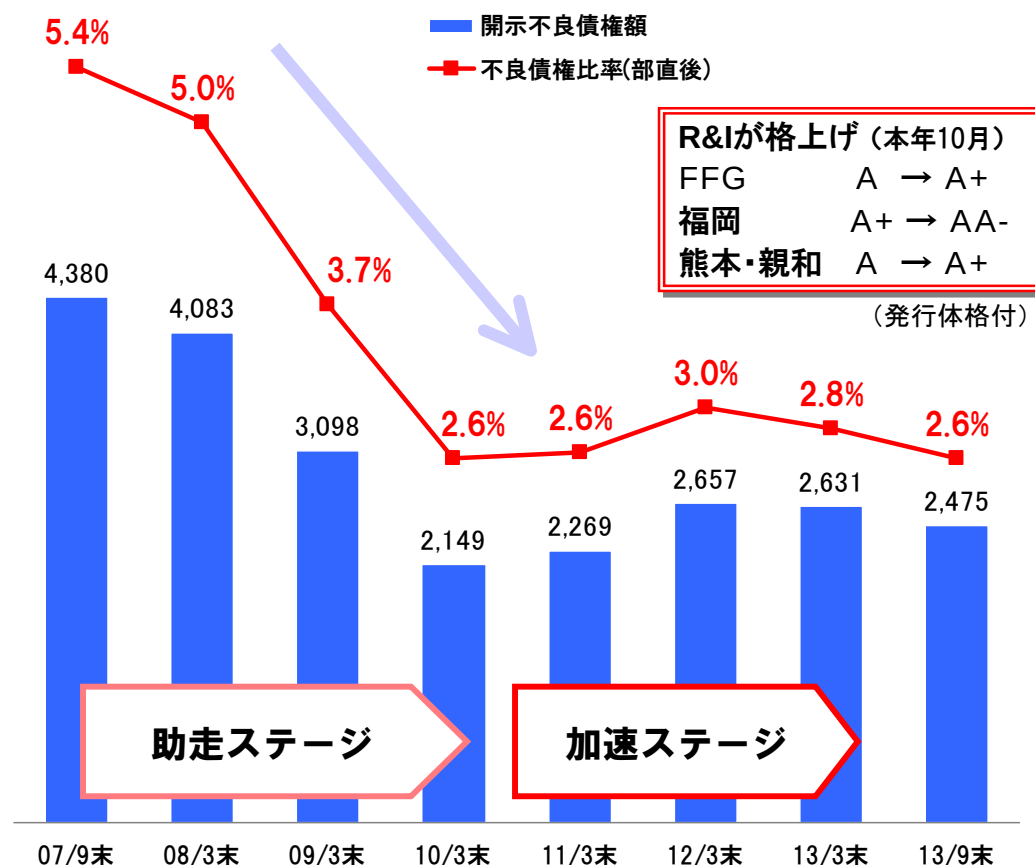
- ▶ 経営統合後3年間は、「助走ステージ」として、経営インフラの整備とバランスシート改善を実施
- ▶ 次の3年間では、「加速ステージ」として業容の拡大へと舵を切り、成長トレンドへの転換を実現
- ▶ 第四次中計は「飛躍的成長ステージ」と位置づけ、「お客さま起点」で営業基盤の飛躍的拡大を目指す



財務内容の改善

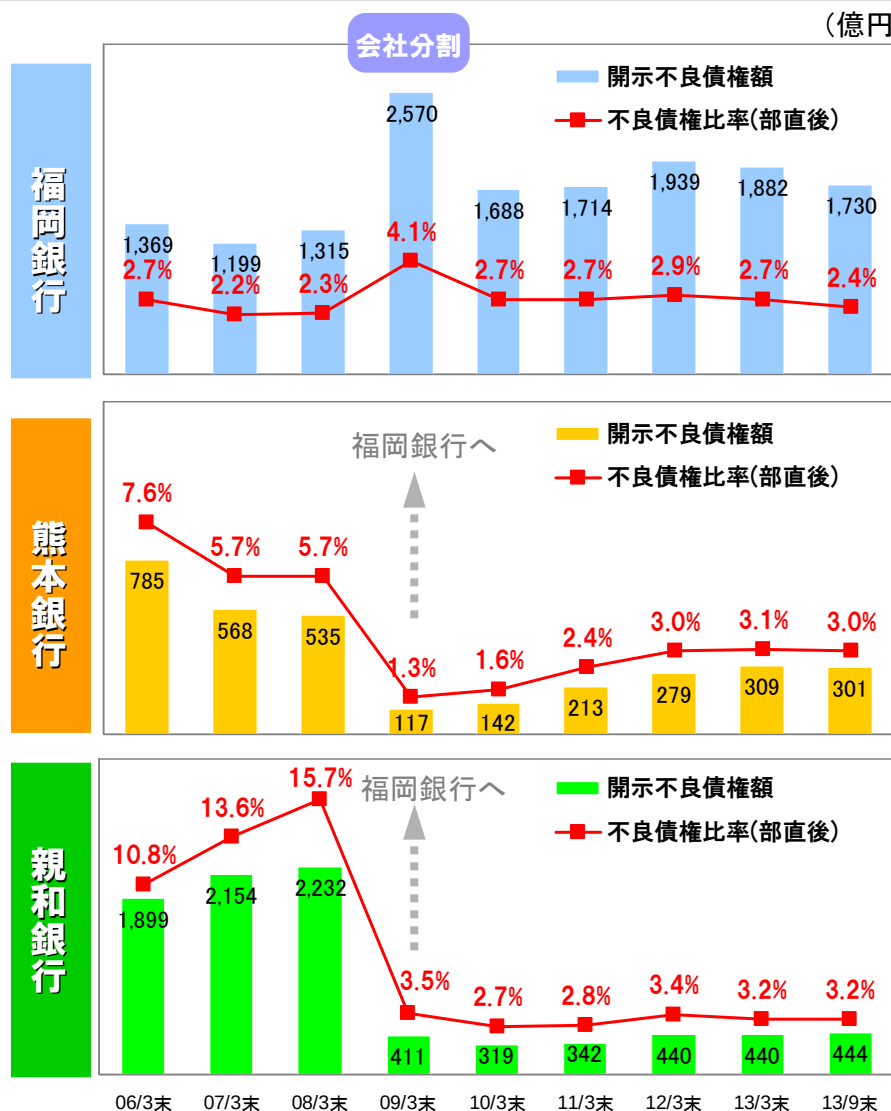
- ▶ 助走ステージで熊本銀行・親和銀行は不良債権問題から訣別し、財務内容を健全化
- ▶ 不良債権問題の解決と事業再生支援を同時実現し、中小企業金融の円滑化にも積極対応

FFG 不良債権額・比率



* 3行単体合算

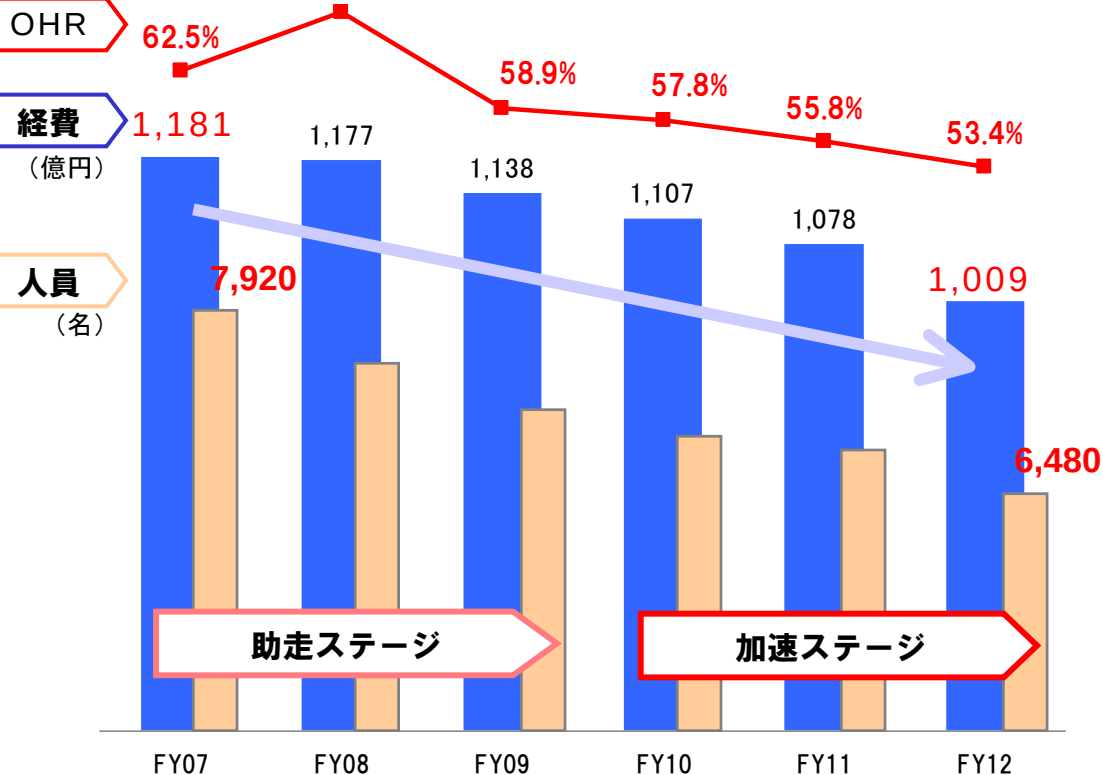
(億円)



経営効率の向上

- ▶ 助走ステージで店舗統廃合、本部機能集約、事務システム統合などを進め、経営インフラを構築
- ▶ 経営統合時から経費を15%削減し、OHRも大幅に改善するなど、経営効率の向上を実現

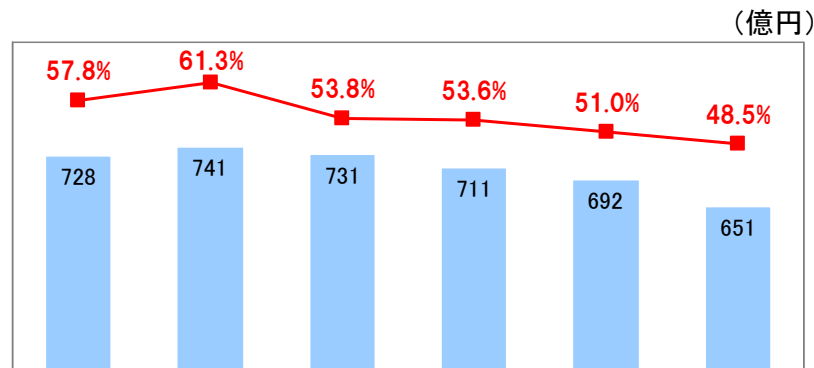
FFG



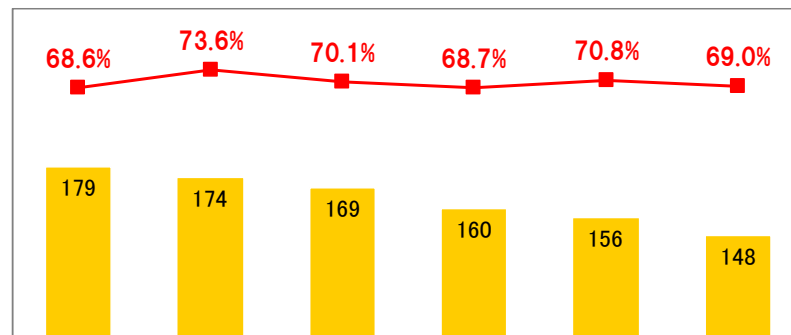
* 3行単体合算

* OHR=経費÷業務粗利益

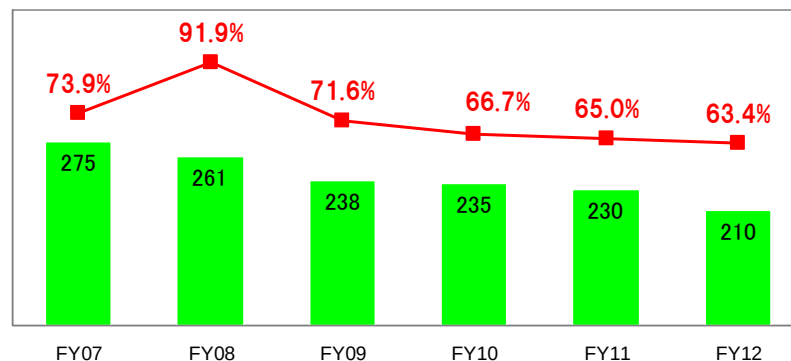
福岡銀行



熊本銀行



親和銀行



安定収益資産の積上げ

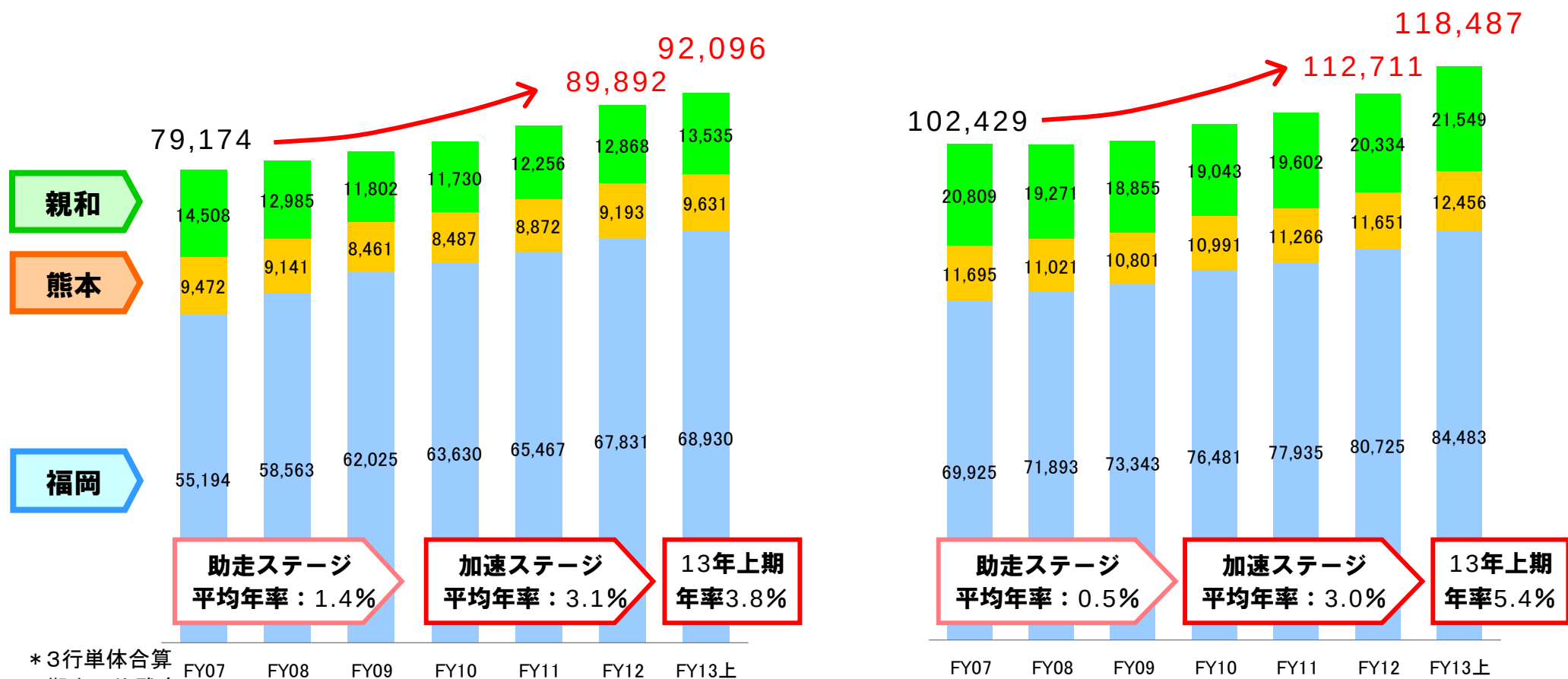
- ▶ 加速ステージに入り、積極的な営業展開により2011年度からは3行揃ってプラス成長に転換
- ▶ 統合から6年間で貸出金・資金量ともに1兆円超を積上げ、今年度に入っても順調に業容の拡大を継続

(億円)

総貸出金

1兆円超増加

総資金（預金・NCD）



* 3行単体合算

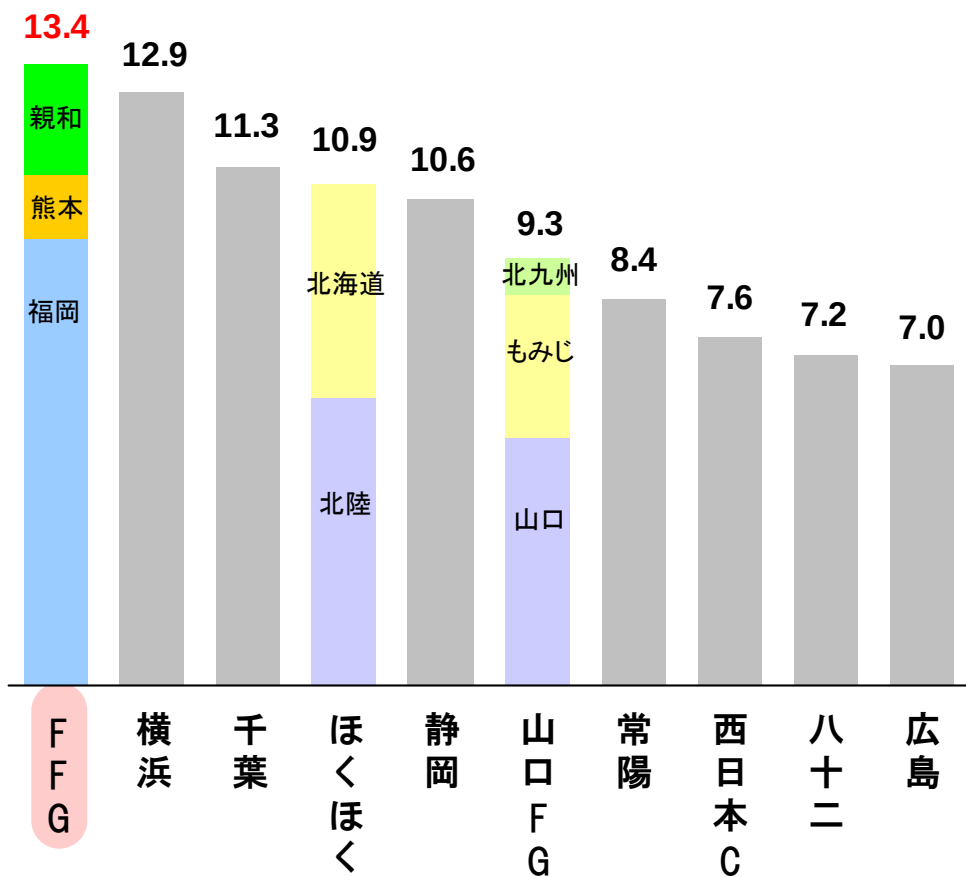
* 期中平均残高

FFGのポジション

▶ 経営統合から6年間で日本最大規模の地域金融グループに成長

(2013年9月末)

■ 総資産 (兆円)



※銀行単体ベース(金融グループは銀行単体合算ベース)

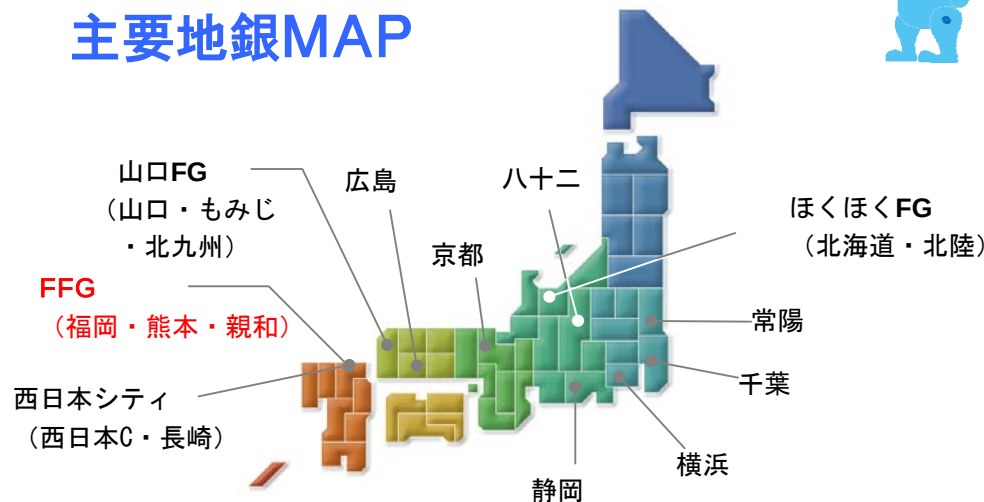
総資産 13.4兆円 ・ ・ ・ 地銀第1位

総資金量 11.9兆円 ・ ・ ・ 地銀第1位

総貸出金 9.4兆円 ・ ・ ・ 地銀第1位

※資金量 = 預金+NCD(譲渡性預金)

主要地銀MAP



マルチブランド・シングルプラットフォーム

- ▶ お客さまに対しては3つの顔(ブランド)をもちながら、グループ内では一体の経営体制・インフラを活用
- ▶ 地域へのコミットメントを維持しながら、スケールメリットの追求が可能となる経営スタイル

お客さま

熊本銀行



福岡銀行



親和銀行



FFG ふくおかフィナンシャルグループ



経営管理

リスク管理

内部監査

営業企画

人事企画

事務システム

マルチブランド

- ブランド力の継承
- お客さま接点の多様性
- 地域へのコミットメント

シングルプラットフォーム

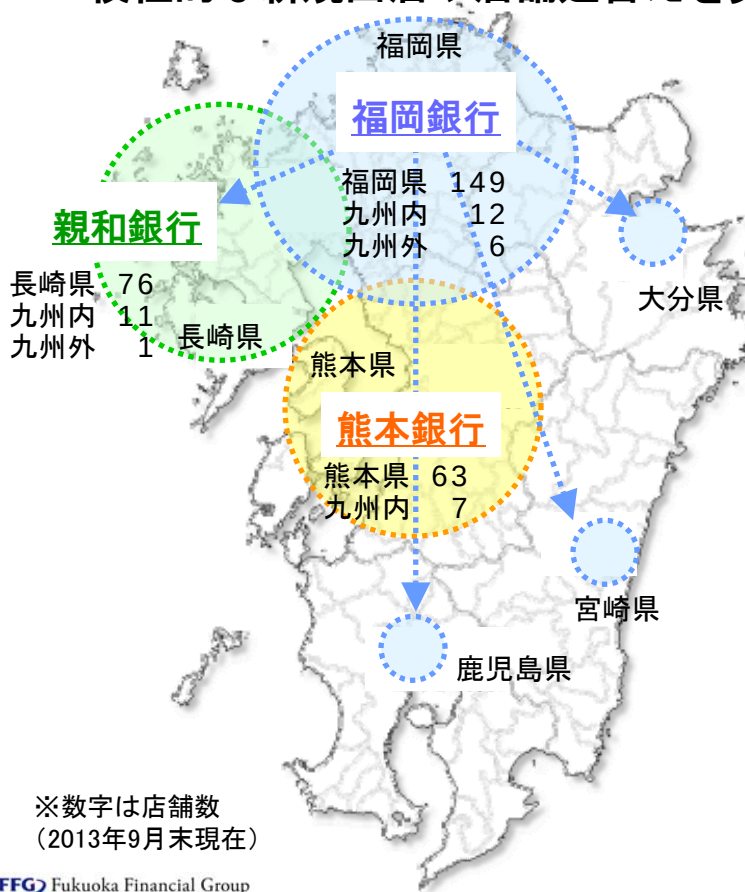
- 一つの経営戦略
- 一体の経営体制
- 共通の経営インフラ

国内外の営業ネットワーク

- ▶ 3行のネットワークを活かして九州全体を面と線の展開でつなぐ広域展開型地域金融グループ
- ▶ お客さまの海外ビジネスをサポートするため、アジアを中心とした海外ネットワークも充実

国内店舗 325カ店

- うち九州内 318カ店
- 積極的な新規出店や店舗建替えを実施



新設店舗

ひびきの支店
(2013年3月)



春日支店
(2014年1月予定)

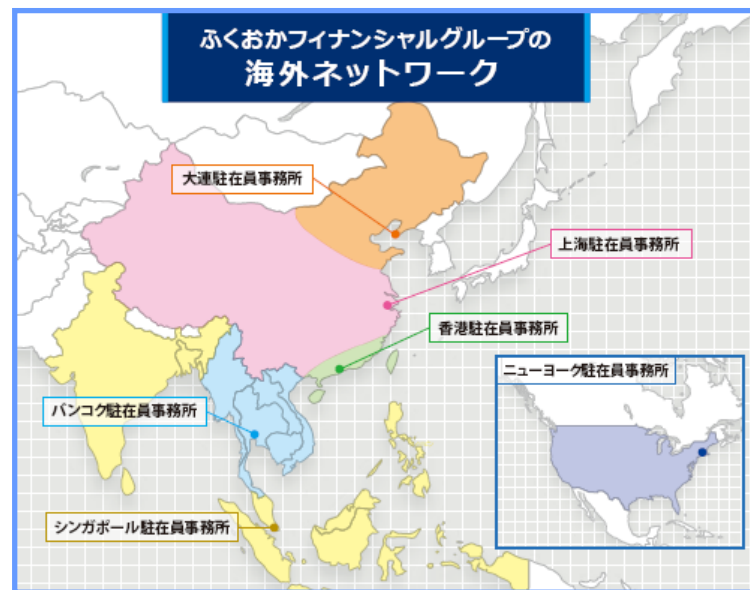


土井支店
(2014年3月予定)



海外駐在員事務所 6拠点

- 九州地銀で唯一ASEANに拠点設置



「九州食の商談会 in バンコク」
(2013年1月30・31日)

- ▶ 九州全県から31社が出展
- ▶ 来場バイヤーは114社
- ▶ 延べ商談件数489件



Fukuoka Financial Group

—あなたのいちばんに。—

Part II

第四次中期経営計画

A B C プ ラ ン II

— 加速ステージから飛躍的成長ステージへ —

加速ステージから飛躍的成長ステージへ

- ▶ 加速ステージから飛躍的成長ステージに移行し、本年4月より新たな中期経営計画をスタート
- ▶ 「営業基盤の飛躍的拡大」を実現し、九州全域で確固たる支持を受ける総合金融グループを目指す

飛躍的成長ステージ
(高速巡航)

第四次中期経営計画 “ABCプランII”
(計画期間：2013年4月～2016年3月)

“ABC” = Always Best for the Customer

目指す姿

九州全域で確固たる支持を獲得する
総合金融グループ

基本コンセプト

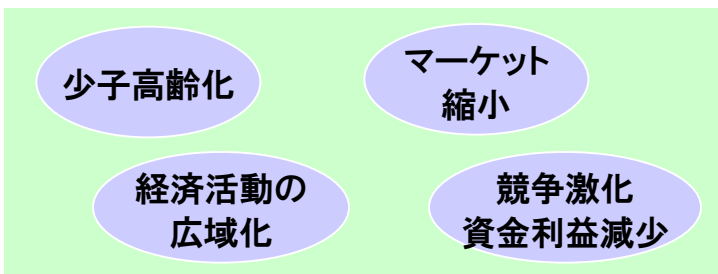
“お客さま起点” の
『構造改革』と『営業基盤の飛躍的拡大』

ABCプランⅡの成長戦略

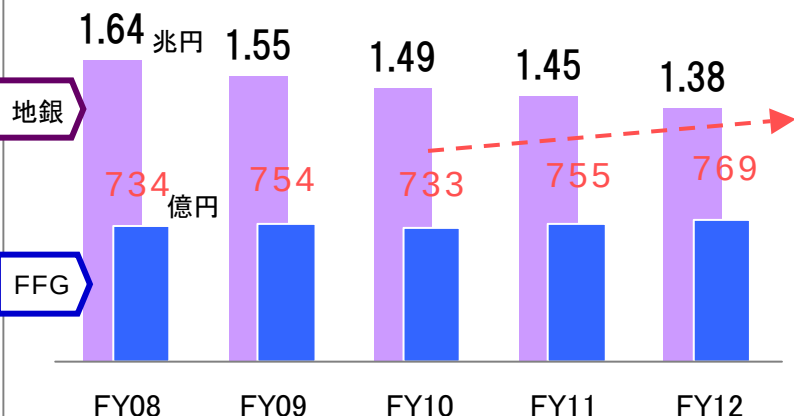
- ▶ マーケット変化と厳しい収益環境の下で縮小均衡に陥らず、成長を持続するために構造改革を実施
- ▶ 『お客さま起点』で構造改革を進め、営業基盤の飛躍的拡大を実現し、収益拡大につなげていく

<今後の成長に向けた課題>

- 社会構造・マーケットの変化
- 厳しい収益環境の継続



コア業務純益の推移



第四次中計
ABCプランⅡ

『お客さま起点』で構造改革を進め、
収益の源泉たる営業基盤の拡大を目指す

『お客さま起点』

構造改革

コアビジネスの構築

- ▶ オーナーコンサルティング
(事業承継・相続など)

既存ビジネスの磨き上げ

- ▶ 新商品・サービスの展開
- ▶ 銀証連携 など

営業体制

チャネル

営業事務改革

IT基盤

営業基盤の拡大

顧客基盤 × 取引基盤

拡大 (エリア・セグメント)
&
深化 (クロスセル)

収益拡大

営業戦略の全体像

- ▶ 最適な商品・サービスを、最適なチャネルから、最適なタイミングでご提供する仕組みを構築
- ▶ 法人・個人全層の顧客基盤と取引基盤を拡大・深化させることで営業基盤の飛躍的拡大を目指す

コンサルティング リテール

最適な商品・サービスを
最適なチャネルから
最適なタイミングで提供

法人・個人全層をターゲット

顧客基盤

×

取引基盤

=

営業基盤

事業法人
21万先

個人
540万先

拡大（エリア・セグメント）
深化（クロスセル）

顧客接点の高度化

チャネル

- 営業店を核とした連携強化
- 専門チャネルの機能強化
- 非対面チャネルの活用

サービス改革

商品・サービス

- オーナーコンサルティングの確立
- 既存商品の磨き上げ
- 新ビジネスの構築

総合営業体制
（営業体制の見直し）

営業人財の強化

営業事務改革

IT基盤強化

商品・サービスの展開

- ▶ 個人のお客さまには、ライフサイクルに応じて、最適な商品・サービスをワンストップでご提供
- ▶ 今後もお客さまの幅広いニーズに応える新商品・サービスを拡充していく

便利・お得・安心

- ATMサービス
- アレコレカード
- マイバンク



新型ATMの導入



アレコレnimoca



アレコレSUGOCA

かりる

- 住宅ローン
- オートローン
- 学資ローン
- フリーローン



ためる・ふやす

- 定期預金
- 積立定期預金
- 外貨預金
- 国債・公共債
- 投資信託
(NISA口座もお取り扱い)



そなえる

- 定期預金
- 貸金庫
- 個人年金保険
- 終身保険
- 学資保険
- 医療・ガン保険
～ 保険 ～

- 相続関連サービス
(法人の事業承継にも対応)

『コンサルティングリテール』

お客さまの様々なニーズに
きめ細かく対応

『金融ワンストップサービス』

銀行窓口やふくおか証券
との連携でまとめてご相談

- 国債・公共債
- 投資信託
- 社債・外債(※)
- 株式(※)

※金融商品仲介



FFGリテール債



FFG ふくおか証券

銀行

証券

チャネルの強化

- お客さまとの最大の接点である店舗チャネルの強化に加え、非対面のダイレクトバンキングなどを充実させ、「コンサルティングリテール」の実現を下支え

店舗機能の強化

- “みんなに優しい”を基本コンセプトとした店舗
- ゆったりとご相談いただけるスペース

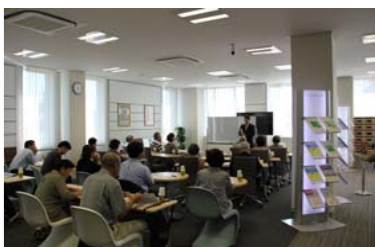
多機能トイレ



ゆったりとした相談ブース



ロビーを活用したミニセミナー



ふくおか証券との連携強化

- 紹介サービスを軸足に連携強化
- 銀行店舗内に軽量型ブース店舗を展開



ふくおか証券大牟田出張所
(福岡銀行大牟田市店内)
2013年11月18日オープン

ダイレクトバンキングの充実

- 電話やインターネットを通じて、便利に、スピーディーにお取引が可能
- 契約会員数 約100万人



見やすく、機能的なホームページ
スマートフォンにも対応

タブレット端末の導入

- グループ3行で2,000台導入予定（2014年度上期）
- 渉外活動時の業務支援
- 営業事務の効率化



お客さま対応時間の拡大
サービス提供力の強化



ブランド戦略

- ▶ FFGブランドを磨き上げ、ブランドスローガンである「あなたのいちばんに。」をお客さまに実感していただくことで、FFG・銀行の“ファン”を増やし、営業基盤の拡大につなげていく

営業基盤の拡大

(FFG & 銀行 ファンの増加)

想起

認知

ブランド戦略

好感

経験

《イメージ戦略》

FFGを、知っていただく

- ▶ メディアの活用
 - ・ 企業ブランドCMの放映
 - ・ ミニ番組の放映
- ▶ 新ブランドキャラクターの展開



ブランドCM



キャラクター「ユーモ」

お客さまとの様々な接点で
“FFGの約束”を実感していただく

ブランドスローガン

「あなたのいちばんに。」

(お客さまへの“約束”)

想起度・認知度 UP

×

コミュニケーションの拡充

《コンタクト戦略》

FFGを、感じていただく

- ▶ お客さま感謝デー
- ▶ 振り込め詐欺から身を守るセミナー
- ▶ CSR活動



お客さま感謝デー



振り込め詐欺から身を守るセミナー



Fukuoka Financial Group

—あなたのいちばんに。—

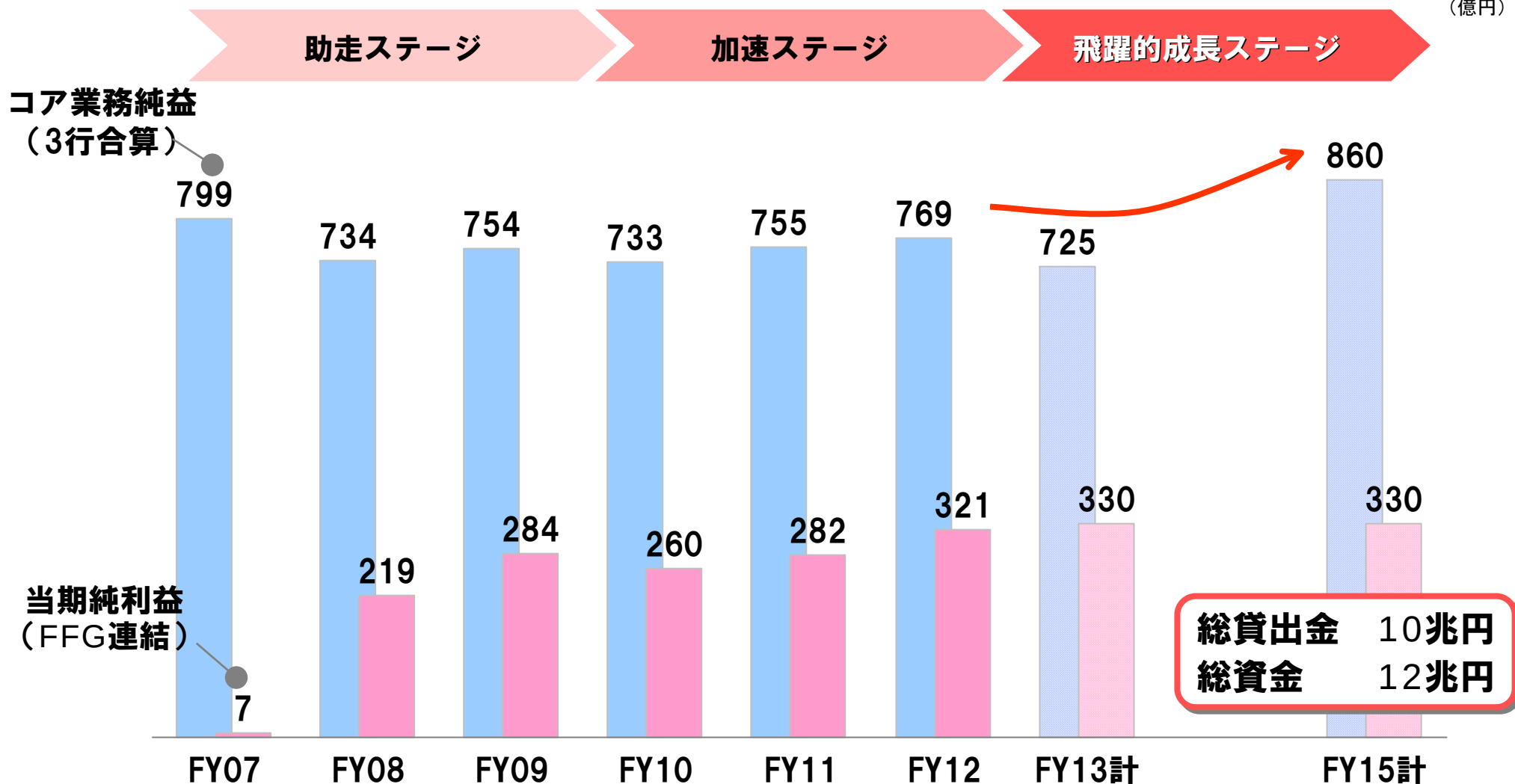
Part III

業績推移・配当方針

業績推移

- ▶ 経営統合以来、着実にステップを踏み、厳しい環境下でも成長トレンドを実現
- ▶ ABCプランⅡでは構造改革と営業基盤の飛躍的拡大で成長トレンドを維持していく

(億円)



配当方針

- ▶ 業績連動型の配当方式を採用し、安定的な配当継続と業績向上に応じた株主還元を目指す
- ▶ 株主価値向上のため配当テーブルを2円引上げ、今期は年間11円配当を予定

配当性向の目安

20%超

引上げ

30%程度

【旧テーブル】

FFG連結当期利益	配当金	配当性向
400億円超	11円～	～24%
350～400億円以下	10円	22～25%
300～350億円以下	9円	22～26%
250～300億円以下	8円	23～28%
250億円以下	7円	24%～

+2円
引き上げ

【新テーブル】 ※2014/3期から適用

FFG連結当期利益	配当金	配当性向
400億円超	13円	～28%
350～400億円以下	12円	26～30%
300～350億円以下	11円	27～32%
250～300億円以下	10円	29～34%
200～250億円以下	9円	31～39%
150～200億円以下	8円	34～46%
150億円以下	7円	40%～

年間配当金
(実績・予想)

08/3期	09/3期	10/3期	11/3期	12/3期	13/3期	14/3期(予想)
7円	8円	8円	8円	8円	10円	11円

さいごに

本日のまとめ

Point1

マルチブランド・シングルプラットフォーム

- ▶ 地元密着の銀行ブランドの強みを活かしつつ、経営統合によるスケールメリットの追求が可能な経営スタイルを確立

Point2

九州全域での成長を目指す総合金融グループ

- ▶ 域内経済の一体化が進む九州全域にネットワークを構築し、充実した金融サービスのご提供で成長を目指す総合金融グループ

Point3

飛躍的成長ステージへ

- ▶ 経営統合からこれまでに構築した経営基盤を礎に、お客さま起点の構造改革と営業基盤の拡大を実現する飛躍的成長ステージへ移行



Fukuoka Financial Group

—あなたのいちばんに。—

Part IV

参考資料

FFGのプロフィール

- ▶ FFG株式は東証1部に上場し、日経平均225をはじめ、海外の代表的な株価指標にも採用
- ▶ 「あなたのいちばんに。」をブランド・スローガンに価値創造のパートナーを目指す

■ 会社概要

(2013年9月末現在)

会社名	株式会社ふくおかフィナンシャルグループ
本社	福岡県福岡市中央区大手門1-8-3
設立	平成19年4月2日
資本金	1,247億円
従業員数	6,949名
上場証券取引所	東証第1部、福証（証券コード：8354）
採用株価指標	日経225、MSCI、FTSE 4 Good など

■ 格付

(2013年11月末現在)

	R&I	JCR	Moody's
FFG	A+	A	—
福岡銀行	AA-	A+	Baa1
熊本銀行	A+	A	—
親和銀行	A+	A	—

※発行体格付、長期債務格付、長期預金格付

グループ経営理念

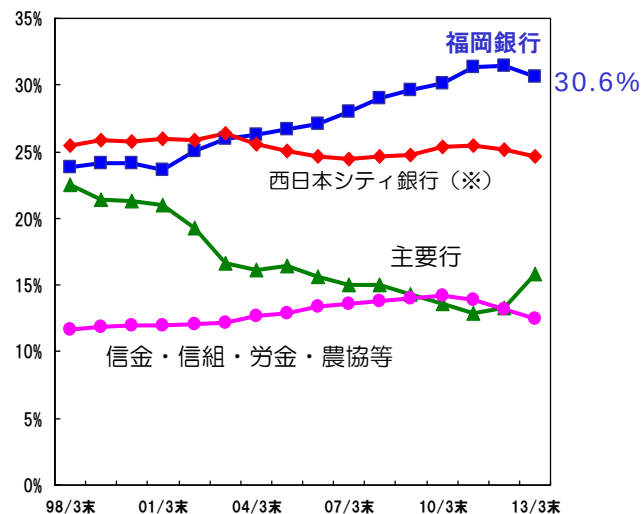
ふくおかフィナンシャルグループは、
高い感受性と失敗を恐れない行動力を持ち、
未来志向で高品質を追求し、
人々の最良な選択を後押しする、
 すべてのステークホルダーに対し、価値創造を提供する
 金融グループを目指します。

ブランド・スローガン

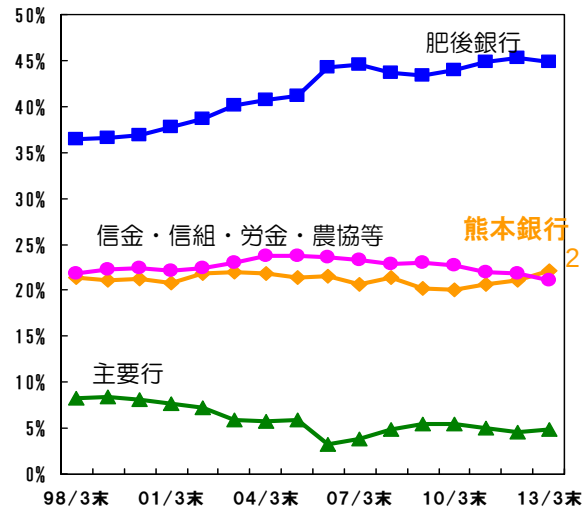
あなたのいちばんに。

マーケットシェア

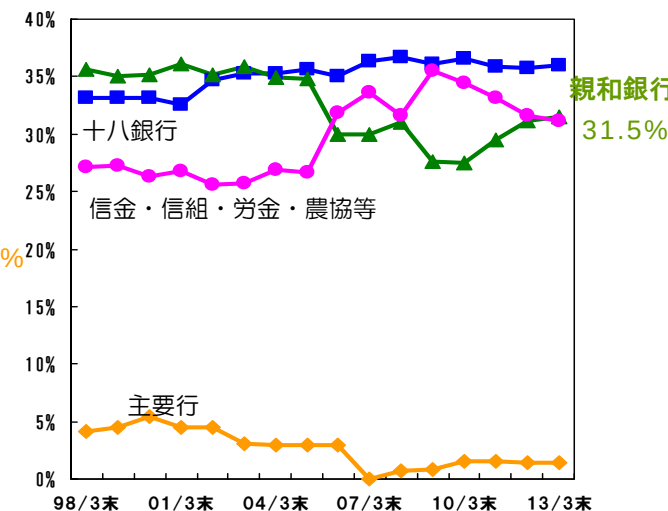
福岡県



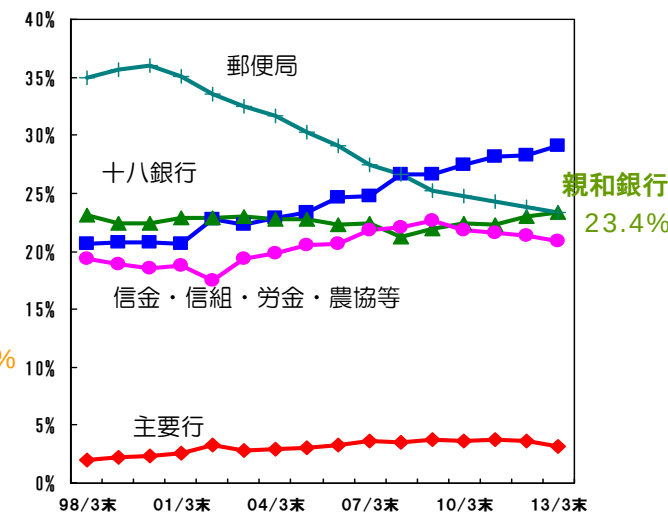
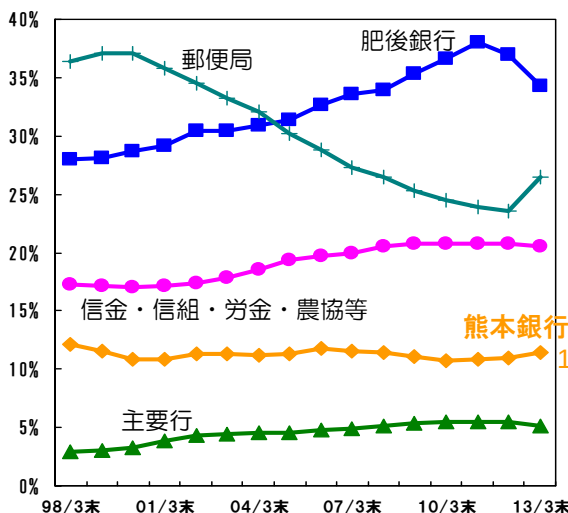
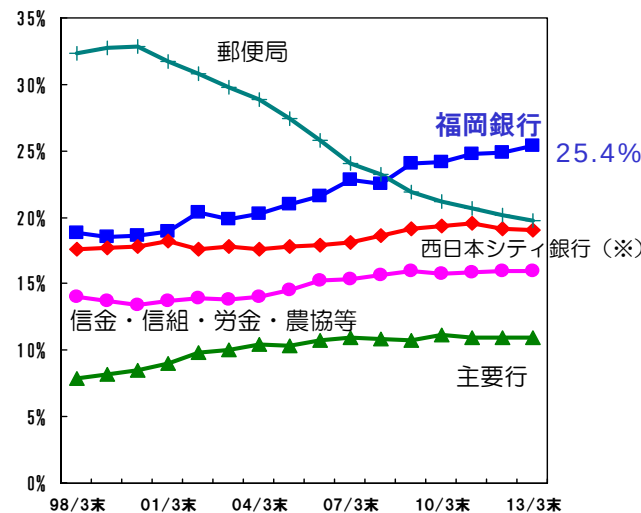
熊本県



長崎県



預金



※ 統合前の西日本シティは西日本銀行と福岡シティ銀行の合計

出所:金融ジャーナル

2013年度通期業績予想

損益(3行単体合算)

(億円)

	3行単体合算		福岡銀行(単体)		熊本銀行(単体)		親和銀行(単体)	
	通期計画	前年比	通期計画	前年比	通期計画	前年比	通期計画	前年比
業務粗利益	1,801	▲89	1,293	▲51	204	▲11	304	▲27
資金利益	1,509	▲45	1,065	▲18	185	▲8	260	▲20
国内部門	1,456	▲49	1,010	▲24	186	▲6	260	▲19
国際部門	54	4	55	7	▲1	▲2	0	▲0
非金利収益	291	▲44	229	▲33	19	▲4	44	▲7
うち役務等利益	191	1	140	▲2	15	1	37	2
うち債券関係	57	▲54	56	▲37	▲0	▲7	1	▲10
経費 (△)	1,019	9	659	8	146	▲2	214	4
実質業務純益	782	▲98	634	▲58	58	▲9	90	▲31
一般貸倒引当金 (△)	105	179	57	137	25	14	23	27
業務純益	677	▲277	577	▲195	32	▲23	68	▲58
コア業務純益	725	▲44	578	▲21	58	▲2	89	▲20
臨時損益	▲42	112	▲2	112	▲24	1	▲16	▲1
経常利益	635	▲164	575	▲83	8	▲22	52	▲59
特別損益	▲12	160	▲8	123	▲2	11	▲2	26
税引前当期純利益	623	▲4	567	40	7	▲11	49	▲33
法人税等 (△)	143	▲37	169	▲27	▲35	14	8	▲23
当期純利益	480	33	398	67	41	▲25	41	▲10
信用コスト (△)	115	44	46	5	33	9	36	31

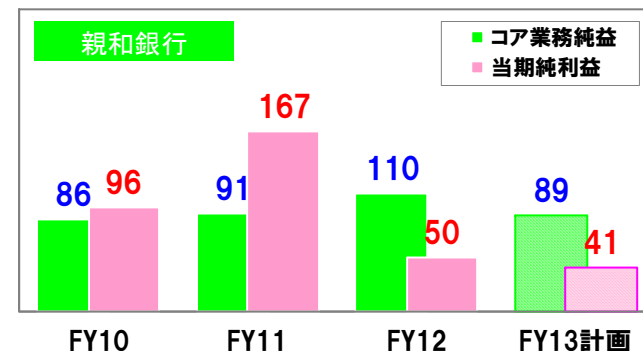
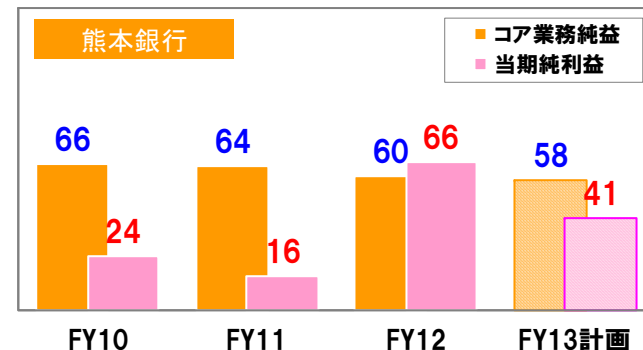
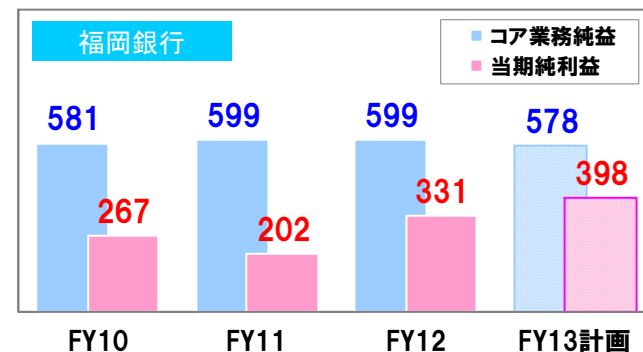
損益(FFG連結)

	通期計画	前年比
経常利益	525	▲163
連結純利益	330	9

連結調整

当期純利益(3行単体合算)	480
FFG単体	▲61
KMB・SWBのれん償却費	▲92
銀行子会社損益	5
その他	▲2
FFG連結純利益	330

【銀行別】損益推移 (億円)

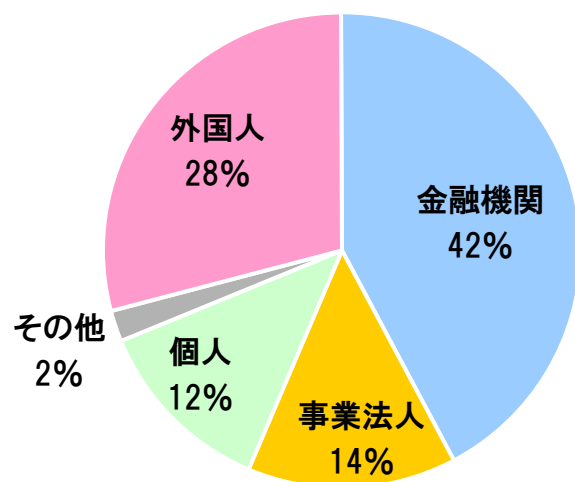


株式データ

■ 株式情報

	普通株式	第1種優先株式
授権株式数	1,800,000,000	18,878,000
発行済み株式数	859,761,868	18,742,000
株主数	21,636	568

■ 株主構成（普通株式）



■ 大株主

（2013年3月末現在）

（千株）

上位株主	所有株数	比率
日本トラスティサービス信託銀行（信託口）	62,343	7.09%
日本マスタートラスト信託銀行（信託口）	48,643	5.53%
九州電力	19,987	2.27%
日本生命保険	18,072	2.05%
明治安田生命保険	17,719	2.01%
住友生命保険	17,419	1.98%
第一生命保険	17,315	1.97%
日本トラスティサービス信託銀行（信託口9）	15,893	1.80%
日本トラスティサービス信託銀行（信託口4）	11,232	1.27%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225	11,014	1.25%

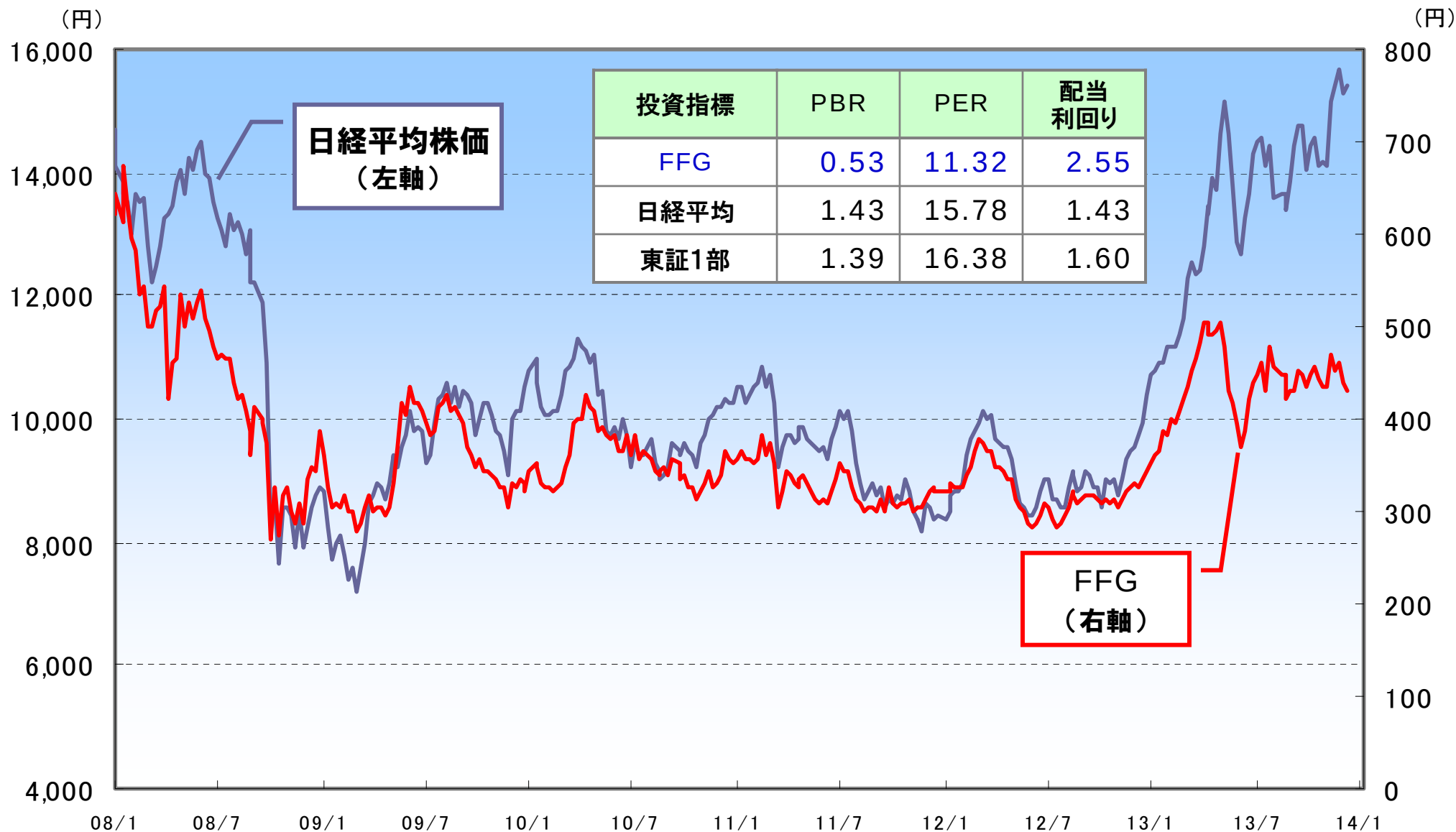
※比率は発行済株式総数に対する割合

■ 株式指標

（円）

	FY07	FY08	FY09	FY10	FY11	FY12
EPS	1.22	25.30	32.82	29.94	32.62	37.01
BPS	586	588	645	658	712	774

株価動向



* 株価は週次ベース

* 投資指標は2013年12月13日終値ベース

(出所:QUICK)



<照会先>

株式会社 ふくおかフィナンシャルグループ 経営企画部

- 電 話 092-723-2502
- FAX 092-721-5798
- E-mail ffg-ir@fukuoka-fg.com
- HP <http://www.fukuoka-fg.com>
- 担当者 高着・奈須



本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。
本資料に記載された事項の全部または一部は予告なく修正または変更されることがあります。
本資料に記載されている将来の業績予想等につきましては、経営環境の変化等に伴い、予想あるいは目標対比
変化し得ることにご留意ください。
なお、本資料の全部又は一部を当社の承諾なしに転写・複製し、又は第三者に伝達することはできませんのでご
注意下さい。